様式３（2020.08改）

作成日　令和　２年　１０月　３１日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371401288
事業所名	グループホーム名古屋鳴海の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	町内会の都合で加盟できていませんが、公園の清掃や廃品回収など事業所で協力できることは実施しています。踊りや演芸、紙芝居、高校生のお話などのボランティア、生徒の職業体験の受け入れ等大半が中止となっていますが、見守り隊（高齢者見守り事業所）は引き続き取組んでいます。また、近所に住む建物のオーナーが常に気にかけて、野菜や果物を差し入れてくださっています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	いきいき支援センター、民生委員、地域代表（建物のオーナー）、家族、利用者、管理者、職員とメンバーを揃え、また講習会を併催することで出席者から定評のあった運営推進会議は、現在集まっていません。3月・4月・6月・8月は、管理者と職員数名で議事録を作成する書面開催としています。メンバーにも送付しており、中には労いの言葉もあり、励みとなっています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	これまでは名古屋市開催の研修会に参加していましたが、コロナ禍で集団指導等人が集まることは中止となっています。緑区役所からは「新型コロナウィルス災害時の避難等について」通知も届いており、近隣の同法人の事業所とともに情報把握に努めています。また生活保護受給者が1名おり、区分変更などで少なくとも月1回は区役所の生活保護課に窓口訪問のうえ、連携を図っています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	全家族共通の「ホームだより」を毎月送付しています。意見は面会時のほか、電話も活用しており、仕事を持つ家族が少なくないことから、予め連絡時間帯の希望を確認していて、比較的じっくり傾聴できています。コロナ禍における面会は双方の工夫と努力で実現できており、利用者の希望で家族に電話をかけたり、また家族からの事業所への電話も必ず利用者にも声かけして、少しでも話をしてもらっています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										